

令和2年度学校評価概要

旭川市立明星中学校

学校運営協議会

令和3年2月25日実施

◎委員の意見から

〔明星 夢 ダイアリーについて〕

・学校の意図と子ども達の意図がかみ合っていないのではないか。子どもの意見も取り入れながら取り組みやすい様式を検討し、取組は継続していただきたい。

〔キャリア教育について〕

・中学校段階で将来の夢を明確にもてる生徒は少ないかもしれないが、職場体験学習などのキャリア教育と生徒の夢との結び付きを大切にしたい指導を今後も続けていただきたい。

〔不登校について〕

・新型コロナウイルスの影響で、欠席生徒に対して積極的な働きかけが難しい状況であるが、少しでも学校に気持ちが向くような関わりや個に応じた進路指導を進めることを期待したい。

〔見守り活動について〕

・登下校時の見守り活動に協力して下さる方々は、学校や子ども達に関心を持っている。地域と子ども達とがより良い関わりをしていくため、今後どのような形で見守り活動を行っていくべきか、学校が目指す方向を地域の皆さん（市民委員会や町内会）に伝えていただきたい。

生徒アンケート

令和2年12月全校生徒を対象に実施

※設問に〔A充実 Bほぼ充実 Cやや不足 D不足〕の4段階で回答

◎成果が見られる主な項目

A・Bの合計

- ・学校では授業に真剣に臨み、課題に粘り強く取り組んでいる・・・92%
- ・先生方は授業をわかりやすく教えてくれる・・・98%
- ・先生方は学習で努力したことを適切に評価してくれる・・・96%
- ・仲間のよさを認め、思いやりの心をもって協力して物事に取り組んでいる・・・93%
- ・髪や服装など学校生活のきまりを守っている・・・97%
- ・学校では将来の社会人として、集団や社会のルールを学ぶことができる・・・95%
- ・先生方は一人一人に応じた指導をしてくれ、安心した学校生活を送っている・・・95%
- ・学校生活は楽しい・・・86%

◎今後の課題となる主な項目

- ・目標とするテストの結果や通知表の成績をとることができている・・・45%
- ・「明星 夢 ダイアリー」を活用するなどして、計画的に家庭学習を進めている・・・41%
- ・「明星 夢 ダイアリー」を活用し、規則正しい生活(起床・就寝)をしている・・・48%
- ・基礎・基本を活用して、自分の考えや意見を発言しようとしている・・・68%

【主な記述反省・要望】

- ・計画を立ててテスト勉強や受験勉強に取り組みたい、学習時間が足りないのでメディアやゲームの時間を削りたい等、学習習慣の改善に関する反省多数
- ・ネットを上手く活用して勉強したい。
- ・挨拶の声が小さいのが反省点、意識を変えてやっていきたい。
- ・寝る時間が遅くなってしまう。
- ・学校では適切な距離を取って生活するのは難しい。
- ・置き勉ボックスが小さい。
- ・中学生らしい髪型が分かりづらい。

教職員自己評価

令和2年12月全教員を対象に実施

主な評価項目と自己評価（成果と課題）

〔カリキュラム・マネジメント〕

○学習指導

- ・主体的な学びを充実させるために、「学習課題」と「まとめ」が正対することを意識した授業を行っている。
- ・生徒の思考を促すために、自分の考えや意見・主張を展開させる工夫を行っている。
- ・生徒の言語活動の活性化を図る手立てとして、「思考の言語化カード」を活用した取組を推進している。

⇒ 自己評価 ○

センスあるかっこいい子の育成を目指し、TTや少人数指導、習熟度別学習等、個に応じた学習活動の充実を図り、基礎的・基本的な内容の確実な定着に努めました。また、確かな学力を育むために、「思考の言語化カード」を活用し、各教科の基盤としての言語活動の洗練と活性化に努めました。

○特別活動

- ・自主性・主体性を育てる「人づくりの二刀流」（絆＝筋＋人情）の役割を果たす生徒会活動に努めている。
- ・個と集団がよき相互関係で高め合い、自ら考え判断し、行動する態度を育てるなど学級活動の充実にも努めている。

⇒ 自己評価 ◎

コロナ禍において、話し合い活動の活発化を図ることは十分に行えなかったが、生徒の自主性・主体性を育てるために行事や集会活動において、様々な工夫をしながら生徒主体の学級活動、生徒会活動を行い、自己肯定感や自己有用感の育成を図りました。

○キャリア教育

- ・明星中学校としての系統性や、学年の取組としてのキャリア教育となるよう努めている。
- ・自律心を育み、自分の生活をプランニングできる手段として、「明星 夢 ダイアリー」の効果的な活用に努めている。

⇒ 自己評価 △

将来の夢や希望について考える機会を保障し、生徒が自身の進路について主体的に結論を導くための資質・能力の醸成に努めました。「明星 夢 ダイアリー」の効果的に活用するための内容（様式）の見直しやキャリア教育の小中連携の在り方が今後の課題だと考えます。

〔人づくり〕

○生徒指導

- ・子どもたちにとってしあわせ（＝優れて＋健全）な教育環境の実現を図るため、「先手」「防止」を目指して、生徒の行動や心の変化を「常に」「広く」「積極的に」取材し、子どもの自律を促すふれ合いに努めている。
- ・個に応じた指導と共感的理解を基盤に、表層ではなく、魂と魂が通い合うふれ合いを実現するため、自己肯定感や自己有用感を高める取組に努めている。

⇒ 自己評価 ◎

子どもの行動や心の変化を見逃さず、全ての子どもたちが安心・安全に生活できる環境づくりを行うために、「すき間のないふれ合い」に努めました。また、家庭や地域、関係機関とも連携しながら、自立した（自分で考えて行動できる）センスある子の育成を図りました。

保護者アンケート

令和2年12月全保護者を対象に実施

※設問に〔A充実 Bほぼ充実 Cやや不足 D不足〕の4段階で回答

◎成果が見られる主な項目

A・Bの合計

- ・本校は、学校経営の目的や経営の方法について、懇談会や各種通信を通して、わかりやすく伝えるよう努めている・・・95%
- ・本校は、保護者懇談や家庭訪問などを通して、保護者の悩みや願いに誠実に対応するよう努めている・・・95%
- ・本校は、授業改善に取り組み、子どもたちに意欲をもたせるよう努めている・・・92%
- ・本校は、評価・評定の方法についてわかりやすく説明し、子どもたちの学習状況や努力を適切に評価している・・・92%
- ・本校の生徒は、あいさつや時間を守る態度などの基本的な生活習慣が身に付いている・・・92%
- ・本校の教育活動を通して、子どもたちに将来の社会人として必要なルールやマナーが身に付いている・・・90%
- ・本校は、一人一人に応じた指導を行い、子どもたちが安心して学校生活を送っている・・・91%
- ・本校は、家庭とも連携しながら子どもたちの心身の健康・安全の充実を努めている・・・93%
- ・お父さんは、元気に学校へ通っている・・・92%

◎今後の課題となる主な項目

- ・お父さんは「明星 夢 ダイアリー」を積極的に活用し、自分の生活を組み立てることができている・・・39%

【主な自由記述・要望】

- ・クラスにいじめがなく、楽しいと聞いております。
- ・休日でも早く学校に行きたいと言うほど学校が好きようです。
- ・教材が多く毎日重たいカバンを背負って登下校するので、肩や腰、膝を痛めて辛そうです。改善策を考えていただきたい。
- ・自転車通学の自転車の乗り方、バス内でのマナーが悪い。

令和3年度に向けた改善・改変の方向性

○基礎的・基本的な内容を習得させ、自分の考えを発信できる力を高める

- ＜育成すべき資質・能力：情報活用能力、記述力、コミュニケーション能力＞
- ・「明星 夢 ダイアリー」を活用し、家庭学習の習慣化を図り、見通しをもって取り組むことのできる力（プランする力）の向上に努める。
- ・「学習課題」と「まとめ」が正対することを意識した授業を行い、主体的な学びを充実させる。（明星中学校 授業の基本的な進め方）
- ・教科・道徳・特活で学んで知識や技能を使い、自ら課題を見付け、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力の育成に努める。
- ・教育的ニーズのある子どもに対して、サブコーディネーター・学級担任等との連携強化を図り、適切な指導・支援を進める。

○命の尊さを感じ取り、思いやりの心を培う

- ＜育成すべき資質・能力：豊かな人間性＞
- ・生徒一人一人が自らの体験に基づいて、議論したり、考えたりする道徳の授業づくりに努める。
- ・人としての基礎・基本（基本的な生活習慣）の浸透を図り、「明星 夢 ダイアリー」等を活用しながら「自分で考えて行動できる生徒」の育成に努める。
- ・職業講話や職場体験等の体験活動を実施し、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成する力を養う。

○強い意思を持って、挑戦しようとする行動力を育む

- ＜育成すべき資質・能力：自立的に行動する力＞
- ・行事や学習に取り組む際などに、目標や工夫する点、努力する点などを考えさせ、その基準に沿って、どこまで達成できたかを認めるなど自己有用感を育む。
- ・健康・安全意識の高揚と危機回避能力を育成する。